

つるまきみなみいせきぐん おおはらいせ
き

鶴巻南遺跡群 6・7区

(大原遺跡)
(秦野市No.87 遺跡)

調査期間

20081201～20090115

所在地

秦野市
鶴巻南4丁目

時代

縄文
古墳
奈良・平安
中世
近世



作成日:20100215

概要

本調査は、神奈川県平塚土木事務所による平成20年度緊急地方道路整備事業の歩道設置工事に伴う発掘調査です。2008年12月から2009年1月にかけて調査を行いました。今年2月より3月までの予定で出土品等整理作業を行っています。

本遺跡は、小田急小田原線鶴巻温泉駅の南方約200mに位置します。今回は6区と7区の2調査区を調査しました。

遺構は、中・近世では、ピット・土坑・道状遺構を、奈良・平安時代ではピット、土坑、溝状遺構を、古代～古墳時代の竪穴住居址、土坑、ピットを、縄文時代では、落とし穴・集石を確認しています。

確認された遺物は、破片が多かったですが、出土品整理作業の結果、写真のような土器(弥生時代末～古墳時代初頭)が復元されています。



▲6区 近世～古代全景



▲7区 近世～古墳時代全景



▲復元された土器
(弥生時代末～古墳時代初頭)